

平成25年度

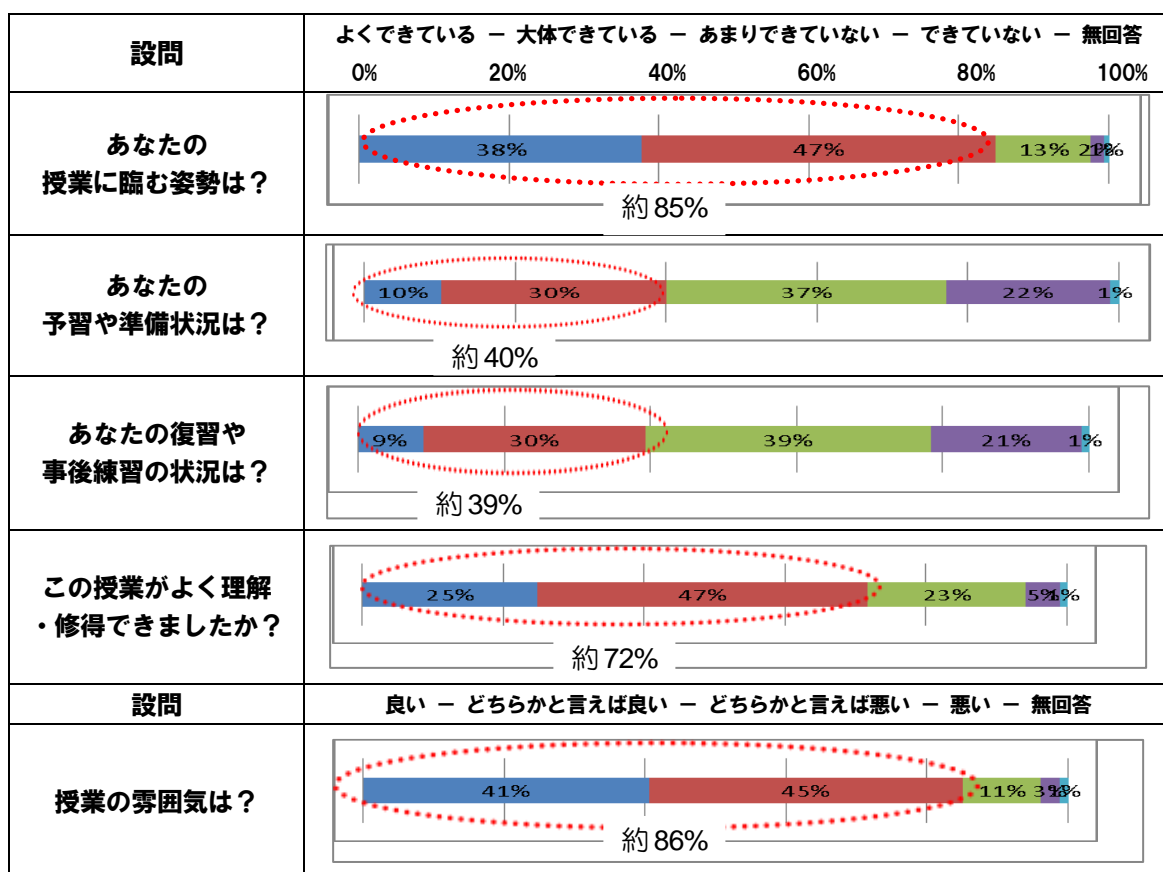
授業に関する自己評価、授業評価の結果報告

小金高校では、今年度も7月に全校生徒を対象に授業評価アンケートを実施しましたので、その結果をお知らせします。今年度もこの文書による報告に先立ち、アンケート調査の結果等をもとに各教科で生徒の実態や小金高校の学習に関する課題、その改善策などを話し合い、様々な意見や方策が出されました。このことについてもここで報告します。

1 生徒の自己評価について

今年度は以下の5項目について生徒にアンケート（回答は（1：できていない[悪い]・2：あまりできていない[どちらかと言えば悪い]・3：大体できている[どちらかと言えば良い]・4よくできている[良い]）の4段階）を行いました。さらに、国数英理社5教科については、昨年に引き続き、予習・復習がしっかりと取り組めていない原因について調査しました。

図1 生徒の自己評価



生徒の自己評価については、図1で示したように「授業に臨む姿勢」「授業内容の理解・修得」「授業の雰囲気」については高い数値（肯定的回答）でしたが、昨年から多

少増加したものの依然「予習、復習への取り組み」が低い数値（否定的回答）となっています。

図2 H23年度・H24年度との比較

設問	できている - 良い - できていない - 悪い - 無回答
予習 (H23)	
予習 (H24)	
予習 (H25)	
復習 (H23)	
復習 (H24)	
復習 (H25)	

H23年度・H24年度と比較すると図2で示したように「復習」「予習」の両数値はH23年度・H24年度と年々微増ながら改善されていることがわかります。

各教科で生徒の学習への取り組み改善に努めてきた成果が安定して結果に表れていると思われます。

今後は、繰り返し学習することが、定着につながるという復習の重要性を説いていくことが重要であると思われます。

図3 予習・復習についての各学年の回答

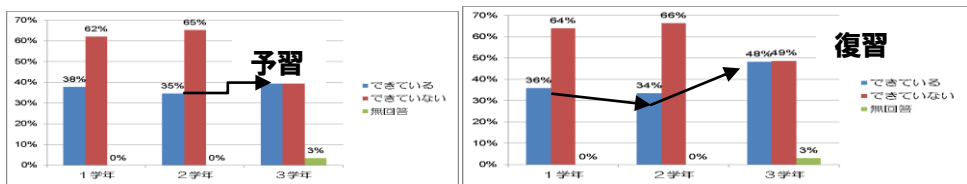


図3では「予習・復習」について、各学年の比較を示しました。「予習」については、1学年から3学年まで「できている」と回答する生徒がほぼ横ばいになっています。しかし、3学年になると「できていない」と答える生徒が約半分になっています。これは進路開拓に向けての意識の表れであるといえると思います。

また、「復習」については、3学年の生徒が1学年、2学年の生徒よりも「できている」と回答しています。日々の多忙な生活の中で「復習をしなければならない」という意識はあるが実際には、復習に取り組めていない状況が現れています。その一方で、3学年の生徒は「予習」と同様「復習ができている」と回答した生徒が多くいました。

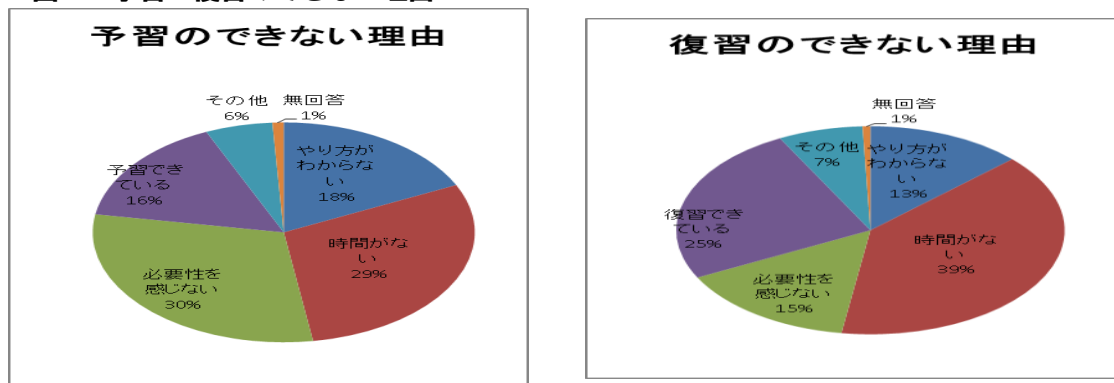
《予習・復習にしっかりと取り組めていない理由について》

今年度も昨年度に引き続き国数英理社5教科について、「予習・復習」がしっかりと取り組めていない理由について調査しました。結果は図4のとおりです。

教科の特性によって回答にバラツキはありましたが、全体の傾向で分析すると、「予習」「復習」のどちらに関しても「時間がない」との回答が最も多くの割合を占めました。部活動や行事などの特別活動で多忙な日々でも、登下校時、下校後や休日に有効利用できる時間はないか考えさせる機会を設けることが必要と思われます。

また、「やり方がわからない」と答えた生徒が「予習」18%「復習」とも13%いることから、授業内外で教員側から具体的な方法を教授したり、アドバイスを送ったりするなどの指導上の工夫が必要と思われます。

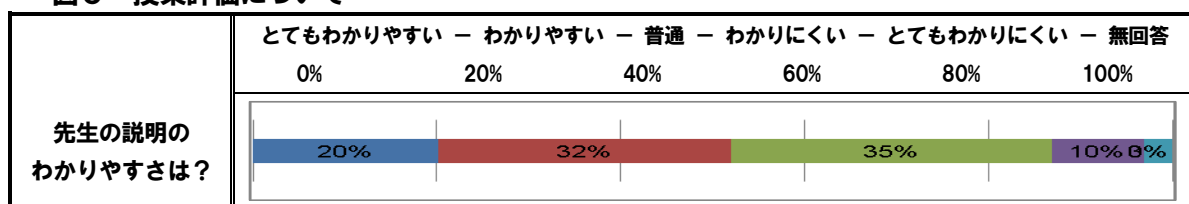
図4 予習・復習のできない理由



2 授業の評価について

今年度は以下の4項目について生徒にアンケートを行いました。回答は（3：普通を含む）5段階としました。結果は図5のとおりです。これも設問ごとに教科によって若干のバラツキはありますが、全体では肯定的な意見が多く見られました。「授業のレベル」「進度」についてはおおむね生徒の実情に合わせた授業が行われていると思われます。しかし、科目によっては授業のレベルや進度が高い（速い）ため、授業になかなかついていけないという個別の意見も寄せられています。個別の意見要望につきましては、教科担当者間で連携を取りながら、一つ一つ確認をして、今後の授業に反映できるか検討をしております。

図5 授業評価について



	高すぎる	高い	普通	低い	低すぎる	無回答
授業のレベルは？	3%	18%	76%	0%	0%	0%
授業のスピードは？	3%	14%	77%	0%	0%	4%
板書や授業のまとめ方は？	15%	26%	48%	7%	3%	0%

3 教科の話し合いで出た意見

- ・生徒参加型の授業展開の構築
- ・板書・プリントの工夫
- ・学力が高い生徒をさらに伸ばすための授業の工夫
- ・單元ごとの到達目標を明確にする
- ・予習よりも復習の重視
- ・興味関心を膨らます授業展開
- ・予習、復習の時間が無いとの意見には、原因を究明し改善させる
- ・苦手意識のある生徒への個別指導を充実させる
- ・実験や奥の深い話を増やす
- ・授業の流れのポイントを押さえた板書
- ・理数を苦手とする生徒への対応
- ・隙間時間の活用を指導
- ・授業ごと的小テストを行う
- ・單元ごとの問題集の定期的提出
- ・復習は具体的な指示を出す
- ・練習問題による学力の定着
- ・勉強計画表を作成する

4 まとめ

昨年度までの授業評価アンケートによって、本校の学習指導における課題は「(予習・復習への取り組みをはじめとする) **生徒に学習習慣を定着させること**」であることがわかりました。今年度はその課題を解決するために、各教科や学年を中心に様々な取り組みを実施してきましたが、まだ十分な結果を得られているとは言えません。今後も今回のような一斉のアンケートだけではなく、教員一人一人がその都度生徒の意見や要望に耳を傾け、授業改善に生かせるものについては、積極的に取り入れていきたいと思ひます。様々な取り組みの成果はすぐに結果として現れないものも多くあります。地道な取り組みを継続していくことにより、学校全体として学習に取り組む姿勢が向上してくるよう努めていきたいと考えております。また、授業改善に生かせるような授業評価アンケートの実施を来年度も検討していきたいと思ひます。